



研究部会報告

●数理計画●

●第9回

日時：昭和61年12月23日(土)

場所：統計数理研究所 出席者：28名

講師とテーマ：

- 1) 今野 浩 (東京工業大学) 「混合整数計画法による化学プラント運転の最適化」
- 2) 大山達雄 (埼玉大学) 「 $P=NP$ について」

●第10回

日時：1月31日(土)

場所：統計数理研究所

出席者：14名

講師とテーマ：

- 1) Andrew Whinston (Purdue University)
“Optimal Information Acquisition in Model Specification with Application to Message Routing in a Connection Network”
- 2) 山本芳嗣(筑波大学) “Primal-Dual Subdivided Manifold and Stationary Point Problems”

●第11回

日時：2月21日(土)

場所：統計数理研究所 出席者：16名

講師とテーマ：

- 1) 稲垣敏之 (筑波大学) 「広域的農業開発適地選定に関する最適化問題」
- 2) 枝広正人 (日本電気) 「幾何学的探索問題とアルゴリズム」

●政策科学●

●第35回

日時：1月17日(土) 14:00~20:00

場所：NTT寮「葵荘」

出席者：13名 (定例会のあとと新年会)

テーマと講師：

- 1) 「政策とその実行：人の志は人の明日を創る」
上田亀之助 (上田イノベーション研究所)
ここでは、政策をより上位の目的達成のための手段としてとらえ、その機能と人間行動の関連性を整理した。

また、経営の指針となる、土光敏夫・本田宗一郎・松下幸之助氏の企業家語録を紹介し、価値観を探った。

- 2) 「政策科学研究部会の昭和61年の活動の概要」

片山隆仁 (防衛庁)

本部会の幹事より、昨年の活動概要を報告した。

●交通問題●

●第33回

日時：1月21日(水) 18:00~20:00

場所：東洋経済新報社ビル (日本橋) 出席者：10名

テーマ：「東京湾横断道路の必要性和その経済効果」

講師：鈴木秀郎 (東京湾横断道路株式会社)

東京湾横断道路は延長約15km (川崎市一木更津市) で東京湾道路、東京外かく環状道路・首都圏中央連絡道路・東名高速道路と一体となって広域的幹線道路網を形成する。東京湾横断道路の利用によって走行距離・時間の短縮効果をもたらす総便益は誘開発効果の出していない段階で年間約730億円、誘開発効果が加わった段階では年間約2,480億円に達すると予想されている。

●待ち行列●

●第31回

日時：2月21日(土) 14:00~16:30

場所：東京工業大学情報科学科会議室 出席者：30名

テーマと講師：

● Q31-1 Dynamic Performance Analysis of Computer Communication Systems—Semi-Markov Approach—(ロチェスター大学・住田 潮) 待ち行列システムの動的振舞いの解析手法と通信システムへの応用例を紹介した。

● Q31-2 待ち行列の特性量の分布型について(東工大・木島正明) 到着とサービスの分布型を指定したとき、待ち行列の諸特性量の分布型の特定について考察した。

●D P●

日時：2月24日(火)

場所：日科技連 出席者：7名

講師とテーマ：

中井 達 (阪府大)

「ある stochastic ordering と決定問題について」
逐次に出現するあるマルコフ過程の状態に依存している確率変数の列に対して、それらの実現値を観測することができるが、その確率変数の依存している状態を直接

に知ることができず、それら確率変数の実現値を通じてのみ情報を得ることができる場合についての学習に関する性質を求め、あわせて関連したいいくつかの多段決定問題について考えた。

●社会経済分析●

日時：1月31日(土) 14:00~17:00

場所：東京都勤労福祉会館 出席者：15名

テーマと講師：

岸上 弘 「日本社会における技術発展の系譜」

現在、ベンチャービジネスで倒産に追い込まれているのはほとんど技術だけが先行していることが判明している。結局、技術が日本人社会と乖離しつつある現象とみてよい。これは一体どこに原因があるのか。それをみるために、日本における技術発展の原点は何であったかを探ったものであった。研究の結果、日本人の思考体系として、ものをあるがままにみる、つまり、ものを原点から考えることの基本的特性がクローズアップされた。

日時：2月28日(土) 14:00~17:00

場所：東京都勤労福祉会館 出席者：13名

テーマと講師：

長谷川 洋 「国際分業の動向と問題点」

今のような国際情勢と経済状態が続く限り、好むと好まざるとにかかわらず国際分業は進行せざるを得ないし、それを前提にして企業の諸活動が展開されねば生き残れないことも事実である。今回の会合で実証的な問題点の発掘と解決すべき方向が帰納できたものと考え。

●日本のシステム科学●

●第23回

日時 2月7日(土) 14:00~17:00

場所：東京都勤労福祉会館 出席者：6名

講師とテーマ：

井上喜代重 (アジア精神文化の会) 「南北朝鮮のシステム：日本との対比」

朝鮮の古代から現代にかけての歴史の流れ・民俗の生態・社会システムの変遷・権力機構・その言語・商工業の体制・気候風土と風俗習慣・階級制度とエリート・日本とのかかわり合い・これからの民主化の可能性と展望等にわたり現地における農村生活のご体験等をふくめて明解なシステム分析をしてくださいました。

最新刊

パソコン・パッケージによる 例解 線形計画法

平本 巖・木下昌男・栗原和夫共著 A5・1800円

ソフト別売 定価80,000円

入門者向けに、線形計画法におけるパソコン応用を解説。プログラム・パッケージを用いて、線形計画問題を解きすすむうちに理解を深めることができる。併せてプログラム・パッケージも販売。(ソフトウェア御希望の方は小社営業部まで。)

主要目次 線形計画法入門(単体法 感度分析 2段階単体法他) 例題編(生産計画問題 栄養問題 混合問題 多期間計画問題他) パーソナルコンピュータの活用(手法理解のためのLPパッケージ 実務に利用するためのLPパッケージ 教育の場に利用するためのLPパッケージ他)

Computer Today 定価880円

3月号特集/好評発売中

近未来コンピュータへの「道」
光コンピュータ・バイオコンピュータの実現へ向けて

■別冊 プログラム移植 4月10日発売 予価1300円

数 理 科 学

5月号予告

定価880円

方程式の物理イメージ

ラプラス方程式	江沢 洋
非線形方程式	戸田盛和
ナビエ・ストークス方程式	巽 友正
ポルツマン方程式	中野藤生
フォッカー・プランク方程式	鈴木増雄
波動方程式	谷内俊弥
アインシュタイン重力方程式	藤井保憲
素粒子の方程式—ディラック、ヤン・ミルズ—	牟田泰三
ロトカとボルテラ方程式	山口昌哉
卵と方程式	土居洋文

<別冊>

宇宙 —なぜ始まったか

真空の相転移とインフレーション宇宙、ニュートリノとX線天文学等、矚目の宇宙研究最前線。

予2000円

サイエンス社

東京都千代田区神田須田町2-4 安部徳ビル

☎03(256)1091 振替 東京7-2387